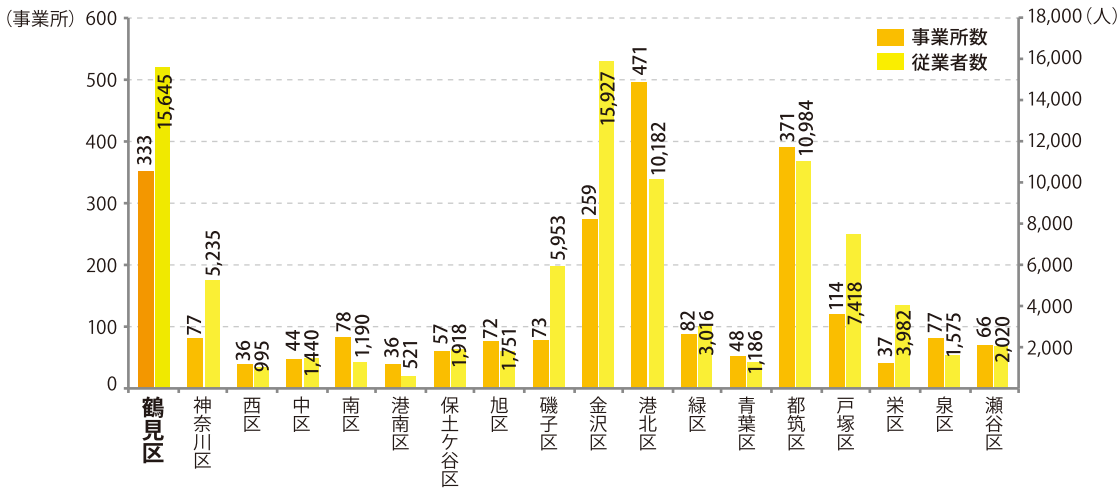


3 工業

鶴見区は、京浜工業地帯の中核として日本の重工業を支えてきました。事業所数については、昭和 48 年の 1,096 事業所をピークに、平成 30 年には 333 事業所とピーク時の約3割に減少し、また従業員数についても、60,000 人を上回っていた昭和 30 年代後半と比べて、約4分の1となりましたが、現在でも、横浜市内の工業における重要な位置を占めています。

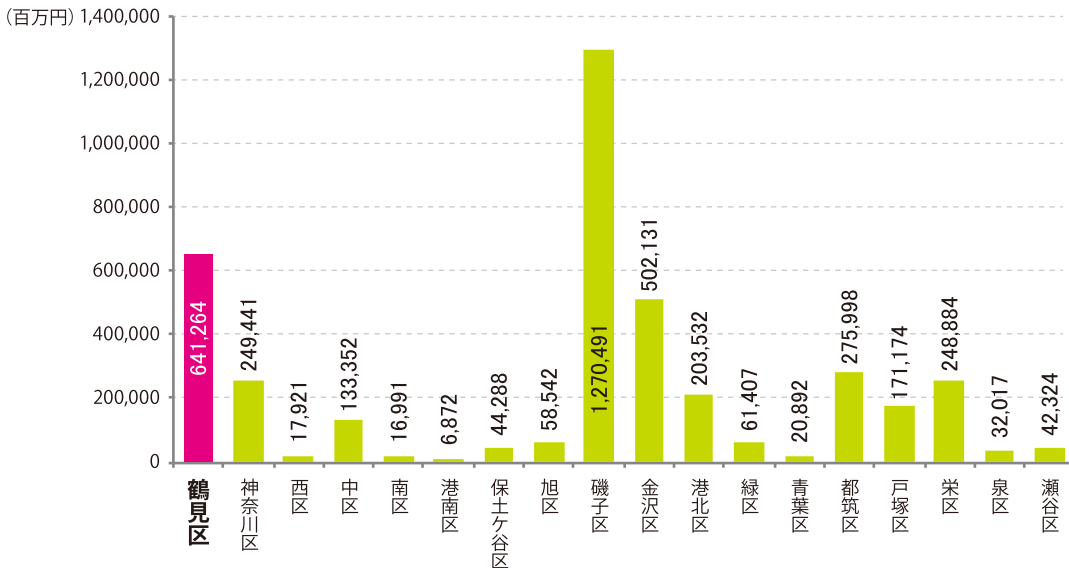
● 区別事業所数・従業員数



鶴見区は事業所数は18区中3位、従業員数は2位だよ!



● 区別製造品出荷額等



鶴見区は製造品出荷額等は、約6,413億円で、磯子区に続いて2位だよ!



資料：平成 30 年工業統計調査（従業者4人以上の事業所対象）

COLUMN 区の用途別水道使用量

資料：水道局及び第98回横浜市統計書

平成 30 年度の鶴見区の水道使用量は、約 2,945 万 m^3 でした。そのうち、公衆浴場用が約 13 万 m^3 で、横浜市全体の公衆浴場用水道使用量（約 71 万 m^3 ）の約 19%を占めています。

なお、鶴見区の平成 30 年末の公衆浴場数は 29 で、18 区中、3 番目の多さとなっています。